

(32) 未成熟そらまめ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 さび病 <i>Uromyces viciae-fabae</i> var. <i>viciae-fabae</i>	1. 発病茎葉は集めて土中に埋める等により、処分する。 2. カリ肥料を十分に施し、強健に育てる。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. ジマンダイセン水和剤は輪紋病にも登録がある。	発病前から	M3	ジマンダイセン水和剤
2 苗立枯病 <i>Pythium debaryanum</i> <i>Rhizoctonia solani</i>	1. 連作を避け、4～5年の輪作をする。 2. 土壌酸度を矯正する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. キヒゲンR-2フロアブルはタネバエにも登録がある。 2. リゾレックス水和剤はリゾクトニア菌にのみ登録がある。	播種前 (塗沫)	M3	キヒゲンR-2フロアブル
		播種時	14	リゾレックス水和剤
3 立枯病 <i>Fusarium avenaceum</i> <i>F. oxysporum</i> f. sp. <i>fabae</i>	1. 連作を避け、他の作物を2年以上育てる。 2. 重粘土壌は発病が多いので、栽培を避ける。 3. 適期播種をする。 4. 被害株は速やかに抜き取り、処分する。 5. 基肥に石灰質肥料を施す。 6. 窒素肥料の晩期追肥をしない。	播種前 (粉衣)	M3	チウラム 80
4 赤色斑点病 <i>Botrytis fabae</i> <i>B. cinerea</i> <i>B. elliptica</i>	1. 圃場の排水を良好にする。 2. 被害株及び収穫後の茎葉残さは圃場外に持ち出し、処分する。	発病初期	2	ロボラール水和剤
5 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 圃場の排水を良好にする。 2. 被害株及び収穫後の茎葉残さは圃場外に持ち出し、処分する。	発病初期	11 12	ファンタジスタ顆粒水和剤 セイビアーフロアブル 20
6 アブラムシ類 (モザイク病 BYMVほか)	1. 定植前にシルバーポリマルチ、シルバー秸秆マルチをする。	播種時または定植時	4A	アドマイヤー 1粒剤
		発生初期	1B 3A 4A 4A	スミチオン乳剤 アデイオン乳剤 アドマイヤーフロアブル モスピラン顆粒水溶剤
7 ヨトウムシ	1. ハウス開口部を防虫ネット(4mm目合以下)等で被覆すれば、飛来、産卵を防止できる。	若齢幼虫期	3A 11A 11A 11A 11A 11A 11A 11A	アデイオン乳剤 トアロー水和剤 CT バシレックス水和剤 ゼンターリ顆粒水和剤 エスマルク DF フローバック DF チューンアップ顆粒水和剤 サブリーナフロアブル
8 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 施設栽培の場合、飛び込み防止のため防虫ネット(4mm目合以下)で被覆する。	発生初期 (若齢幼虫期)	3A 11A 11A 11A 11A 11A UN	アデイオン乳剤 バシレックス水和剤 ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 フローバック DF サブリーナフロアブル プレオフロアブル
9 ハモグリバエ類	1. 圃場内や圃場周辺の雑草を防除する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. カスケード乳剤はマメハモグリバエのみ登録がある。	発生初期	1B 6 15 UN	マラソン乳剤 アフターム乳剤 カスケード乳剤 プレオフロアブル
10 コナジラミ類	1. 施設栽培の場合、飛び込み軽減のため減のため防虫ネット(1mm目合以下)で被覆する。	発生初期	4A	モスピラン顆粒水溶剤

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

## 未成熟そらまめ

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
11 アザミウマ類	1. 施設栽培の場合、飛び込み軽減のため減のため防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。	発 生 初 期	4A	モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤
12 ハダニ類	1. 圃場内や圃場周辺の雑草を防除する。	発 生 初 期	21A	ダ ニ ト ロ ン フ ロ ア ブ ル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する